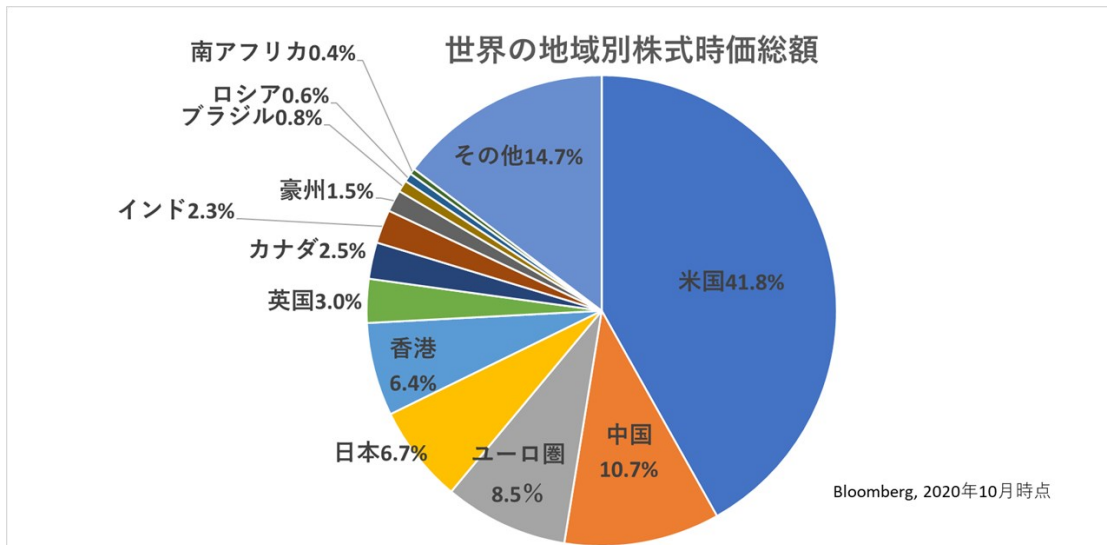


ATTENTION

株式投資は、世界に目を広げよう！



この円グラフは、2020年10月時点の世界の株式市場の時価総額を示したものです。これを見ると、米国が41.8%と圧倒的なシェアを誇っています。米国のGDP世界シェアが24.6%（2019年）ですから、経済規模の70%も大きく株式時価総額が評価されているということです。いわば世界の投資資金が米国に集中しているといっても過言ではありません。これは、いわゆるバフェット指数（時価総額/GDP）から見れば、割高とも見えますが、別の見方をすれば、米国経済は非常に効率的であり、将来にわたって相対的競争力が高いと見られているということでもあります。さて、我が国日本の時価総額シェアは6.7%。つい数年前8%程度だったのがさらに減ってきた形です。実は、1990年のバブル絶頂期には、日本の時価総額シェアは40%を超えていたのです。いまの米国の地位にあったのが、信じられません。その地位は一時のあだ花だったのかもしれない。「株式投資は、日本だけ」というのは、あまりにも世界を見ていないことになります。日本以外に株式投資できる場所は、世界に90%以上もあるということは、よくよくわきまえておくべきでしょう。

COLUMN

コロナ禍の健康に、とっておきの方法

コロナ禍で室内で過ごしがちですが、様々な研究で自然に接する時間を増やすことが、健康のために大変有効なことがわかってきました。日常的に木々の中で新鮮な空気を吸うことが大変いいのです。

自然体験を増やすことが、私たちに差し迫って求められていて、新型コロナウイルスは、一層それを後押ししているというのです。特に緑が少ない都会では自然が少ないことで心身に与えるマイナスの影響が大きく、その必要性が増しているとのこと。

いわゆる「森での森林浴」は、血圧、心拍数、ストレス・ホルモンを下げ、不安感、抑うつ状態、飢餓感を少なくします。ガン制圧細胞は、森での散歩によって著しく増えるという研究があります。日本での研究によると、12人の健康な男性が木々がある公園で、1回2時間の歩行を2回行った後、がん制圧細胞の数と活動が増えたというのです。そしてそれらの効果は1週間も続いたとのこと。

また20,000人を対象とした研究によれば、1週間に2時間自然に接していると、際立って心身ともに健康でいられるとのこと。また家族で公園に行くことで、親のストレスが減り、子供の回復力が増えたとのこと。たくさんの方が、自然は、健康にいいと感覚的にわかっていますが、多くの時間をあてていません。テレビやスマホには、1日平均で11.5時間もあてていますが、外で自然に接する時間は、ますます少なくなっているそうです。この連休、近くの緑ある公園で、1日2時間散歩をしてみたら、いかがでしょう。

(情報ソース:米ウォールストリートジャーナル)

MARKET

| | (4月末) | (3月末比) |
|------|-------------|--------------------|
| 日経平均 | 28,812.63円 | -366.17円 (-1.25%) |
| NYダウ | 33,874.85ドル | +893.30ドル (+2.71%) |
| 米ドル | 109.35円 | -1.40円 (-1.26%) |

私の書棚より

怒りを覚えたら、その感情がまだ心に引っかかっている、自分が楽しいと思うことをすると、感情がシフトする。

-オードリー・タン 天才IT相 7つの顔

コロナ禍で、日本の膿が一気に。犠牲をこうむるのは国民！

コロナウィルス感染拡大が本格化して1年2カ月。本当に長いです。この期間、世界中の人が行動を制約されているということは、大変なことです。現在は、すべての人がマスクをつけ、マスクをしていない人がいれば、白い目で見られます。ここまで長引くと、飲食店に従事する人は、本当に大変です。一時期、新宿のホストクラブや銀座のクラブの窮状が伝えられました。この頃は伝わってきませんが、他の飲食店も大変なので、その中に入ってしまう、ただ見えないだけなのでしょう。東京は、夜、酒が出る飲食店がないという状況です。(酒が出るところは、東京都の指導を守っていないということ)このような状況は、まさに異常事態です。ほとんどの人は酒の出ないレストランや居酒屋に行きたいとは思わないでしょう。また医療従事者の人たちは、長いあいだ緊張状態が続き、さぞ疲労やストレスが溜まっていることでしょう。本当に頭が下がる思いです。

さて、米国の状況をテレビで見ましたが、なんと大リーグの観客にマスクをしていない人がたくさんいるのです。街を歩いている人も、マスクをしないで清々した顔をしています。いまではコロナワクチンが行き渡り、接種を受けていない人は、自分の意思で受けていないだけ。バイデン大統領は「早く接種を受けろ」と督促しています。そして、ワクチンは余る状況となり、隣国のカナダやメキシコに譲ったり、他国に輸出する状況となりました。いまでは、経済活動はどんどん再開し、1-3月 GDPは+6.4%、ニューヨークダウは高値を更新中です。日本はおそらくマイナス、日経平均が伸び悩みと、好対照です。

我が国日本のワクチン接種率は現在、驚くべき低い1.8%という状況です。米国42.7%、遅れていたドイツでさえ25.7%。日本は世界で100位の接種率。目を覆ってしまいます。すべての人にワクチンが行き渡るには、早くても秋まではかかるでしょう。7月に開催される東京オリンピックは一体どうなるのでしょうか。コロナが収束しつつある米国や英国から、いまだ収まらずに感染拡大が懸念される国に、安心して選手が来られるでしょうか。

日本でコロナワクチンが承認されているのは、これまでファイザーのワクチンだけ。やっとモデルナが最近承認されたそうですが、ほかの国では他のワクチンも広く使われているのに、この有様です。この違いはどこから来るのでしょうか。それは、日本のかけ離れた薬事行政の硬直性にあります。1980年代の3種混合ワクチンでの副作用問題に懲りて、あまりにも硬直的な医薬承認制度にして、いままでそれが連綿と続いたためです。それが、ワクチン獲得の動作を遅くし、外国と日本のワクチン接種の差につながっているのです。

この状態はあまりにも戦略がなく、医療行政がお役所仕事といわざるを得ません。その厚生労働省の役人は、2人以上の会食は控えるように言われて国民が我慢する中、23人で大宴会をやっていたといえます。おまけにクラスターが発生。常日頃、決められたことだけをやっていけばいいという性根が染み込み、行動・思考様式も世の常識とかけ離れている証左といえるでしょう。また、自分たちは上というお上意識も全く抜けていないということです。

コロナ禍で、日本の膿が一気に噴き出したようです。しかも、それですべからく犠牲をこうむっているのは、我々国民です！

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp